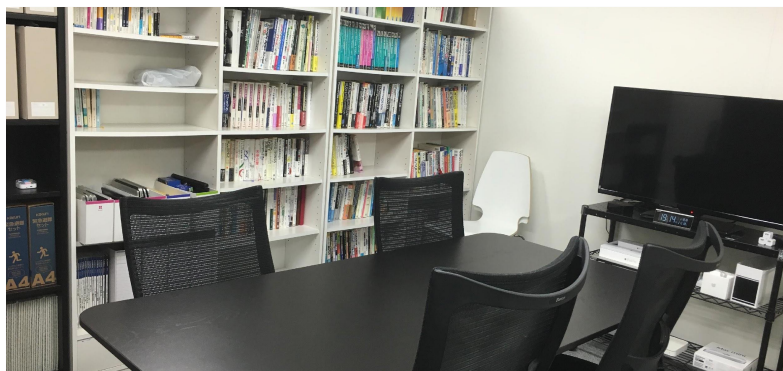




WordPressサイト静的化サービスの御紹介

rev. 202505



設立日 2006年7月7日

所在地 大阪市北区

代表者 大石 裕一

資本金 1000万円

従業員数 6人 (アルバイト、外部パートナー含む)

免許/資格 ACN  Consultants Network
AWS認定資格 (Solutions Architect) 

Web <https://www.feedtailor.jp/>

静的Web事業

espar vault

静的化技術で、WordPressサイトの高速性と安全性を最高レベルに引き上げるサービス

espar form

静的ページ上で動作する、
PHP不要の問い合わせフォーム実装ツール

espar archive

Webサイト全体を特定日時の状態そのまま
保存するアーカイブサービス

エンタープライズiOSアプリ 事業



自社・受託をあわせて実績120個以上。
2008年より事業化。B2Bアプリが得意



エンタープライズiOS研究所

エンタープライズiOSを専門とする
国内唯一の特化型メディア

WordPressの課題が現場を苦しめる

画面が真っ白になったんですが...

サイトの表示が
重くなってきたのですが...

WordPressのバージョン
上げなくて大丈夫ですか？
脆弱性が心配で...

重すぎて記事投稿が
できません...

サーバ会社のメンテで再起動するら
しいのですが大丈夫ですか？

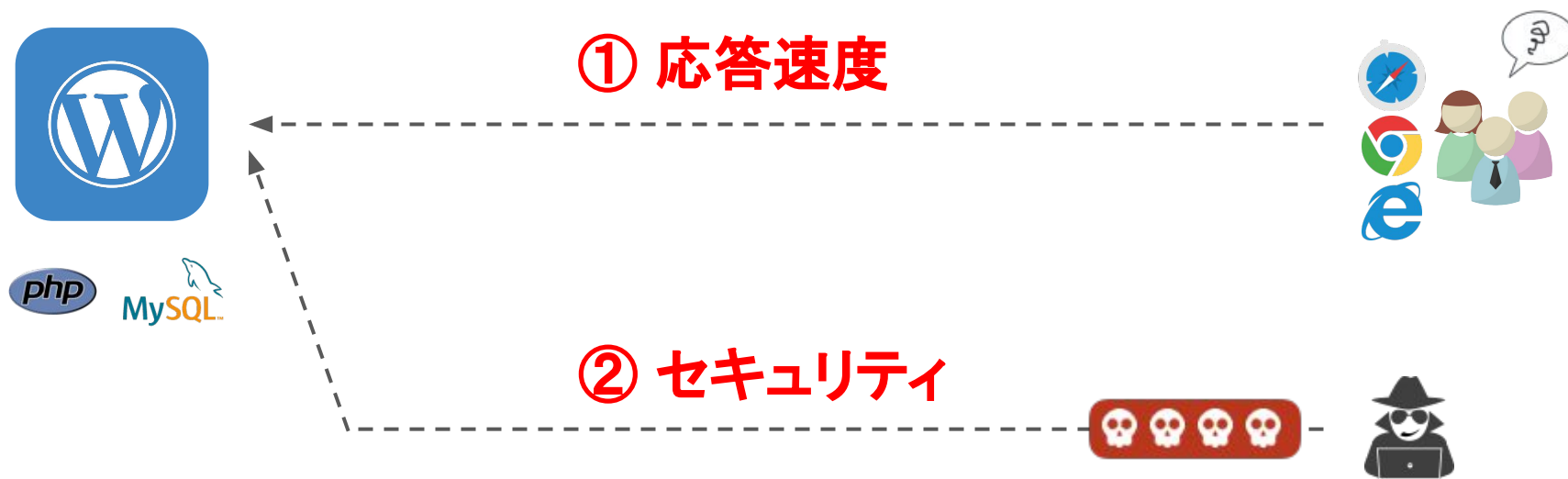
明日メディアに出るんですが
サーバ落ちませんよね？

常時SSL化をしたいのですが...

トップページが改ざんされてし
まったのですが...

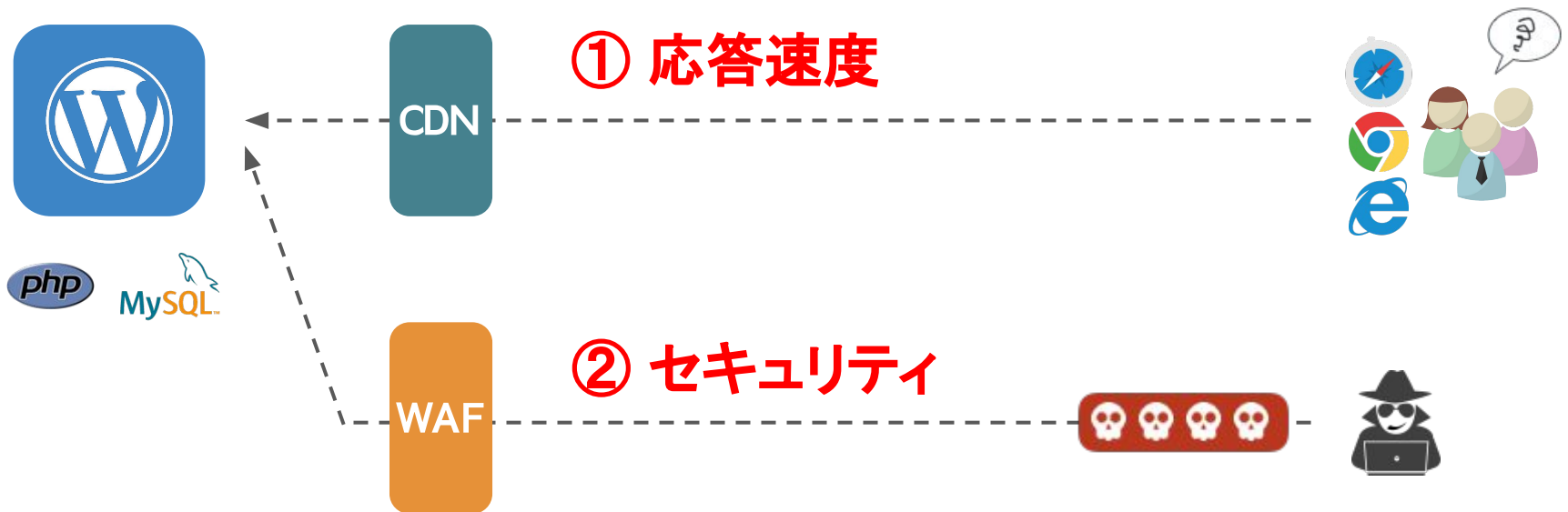
500 Internal Error ってます...

WordPressサイトが抱える課題と根本原因



もろ
PHP+DB は、脆くなりやすい&遅くなりやすい。(Perl, Ruby, Python でも同様)
全ての原因はインターネットにサーバ単体で無防備に晒す ことにある

従来の手法



CDN・WAFは、サーバ運用の知識がなければ効果がなく無駄になることもある
(いずれも月額数万円～)

espar vault の課題解決アプローチ

サーバは公開せず
サイトを公開する



静的化

(HTMLファイル化)



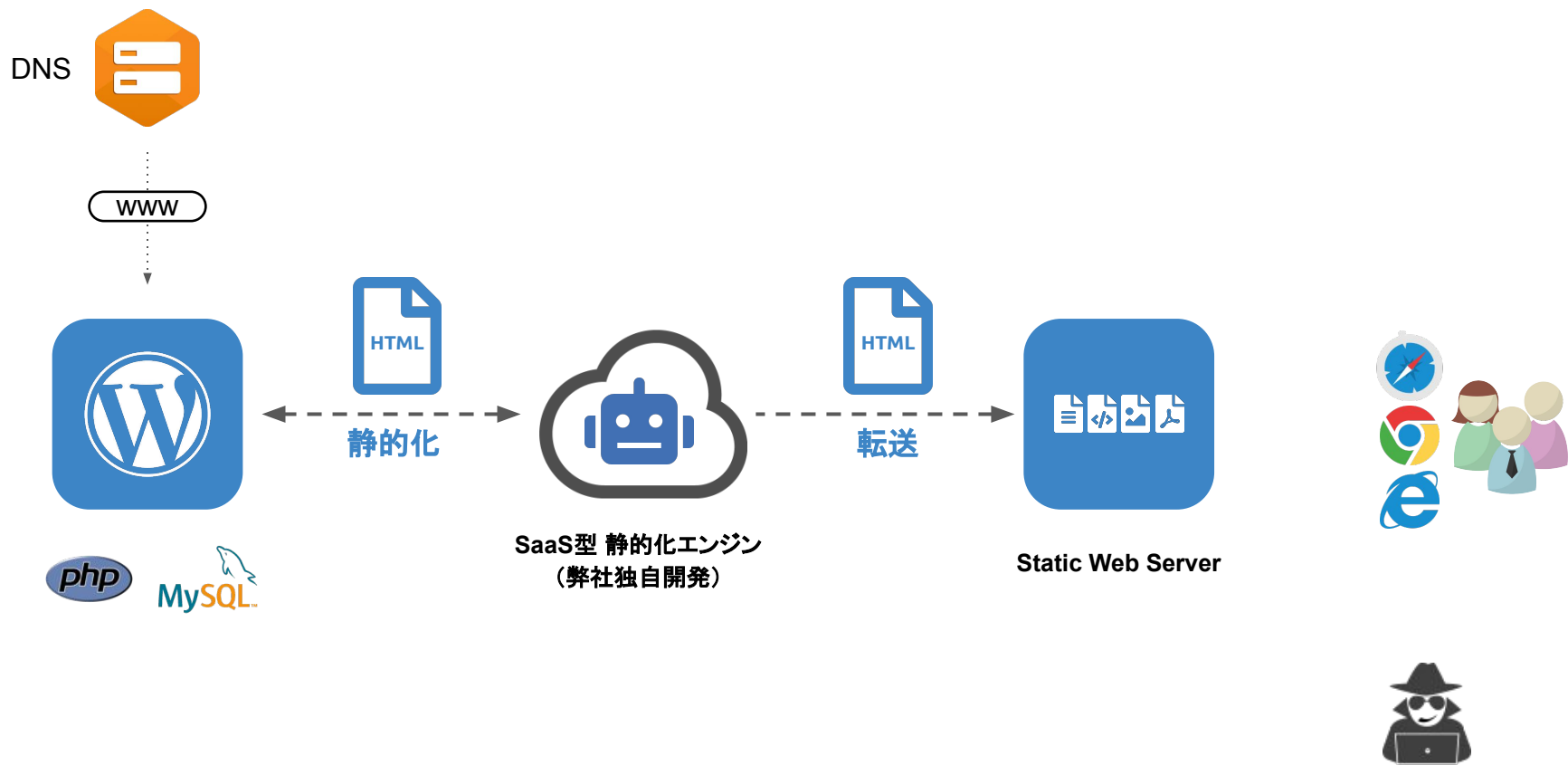
Webサイトとは、つきつめればHTMLファイルである。
HTMLファイルと画像等の関連ファイルがあれば、公開サーバにPHPやDBは不要な筈。

espar vault の課題解決アプローチ



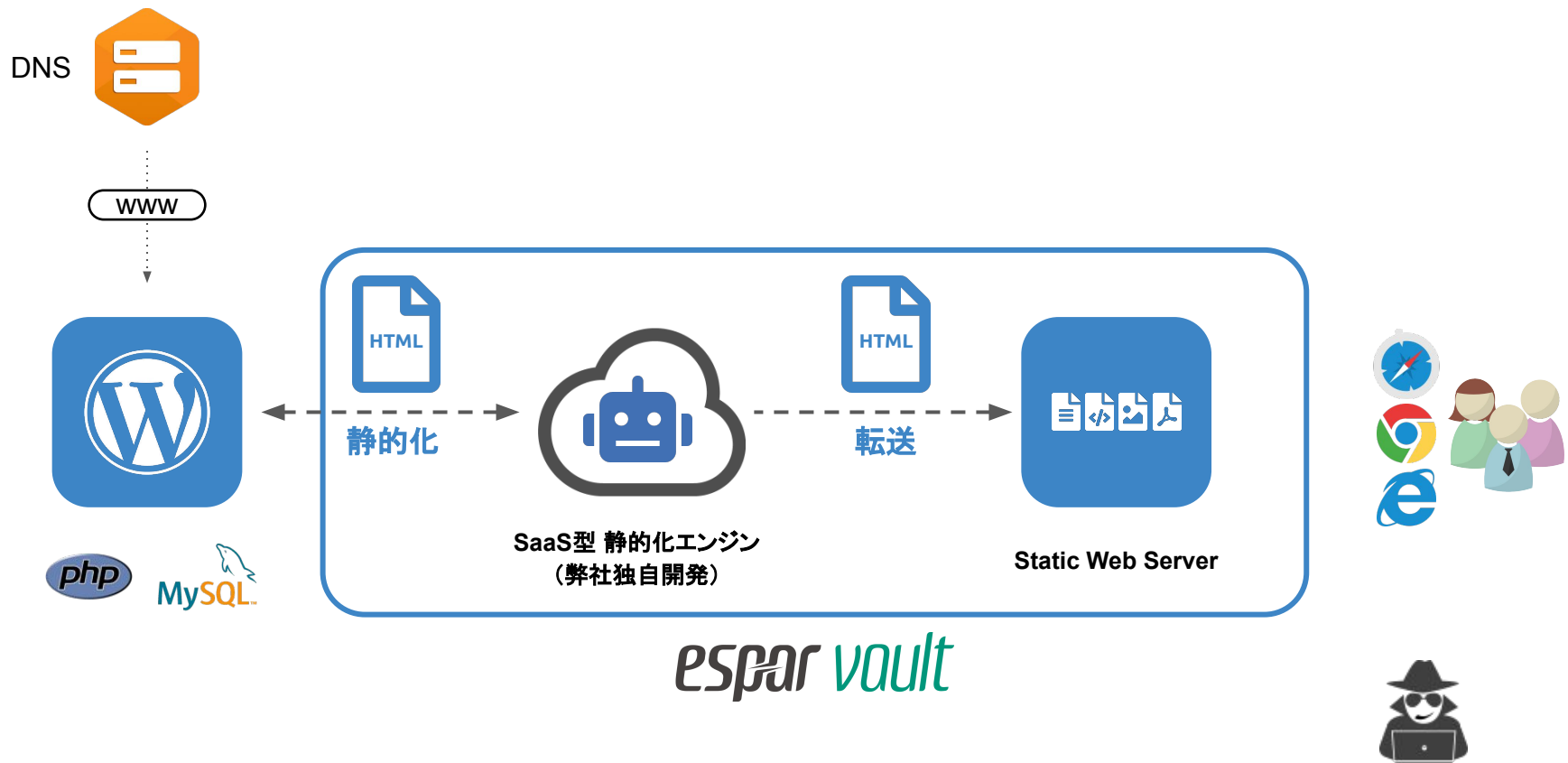
全ページをクロールしてHTMLファイル化。必要な画像やcss等の各種ファイルも取得

espar vault の課題解決アプローチ



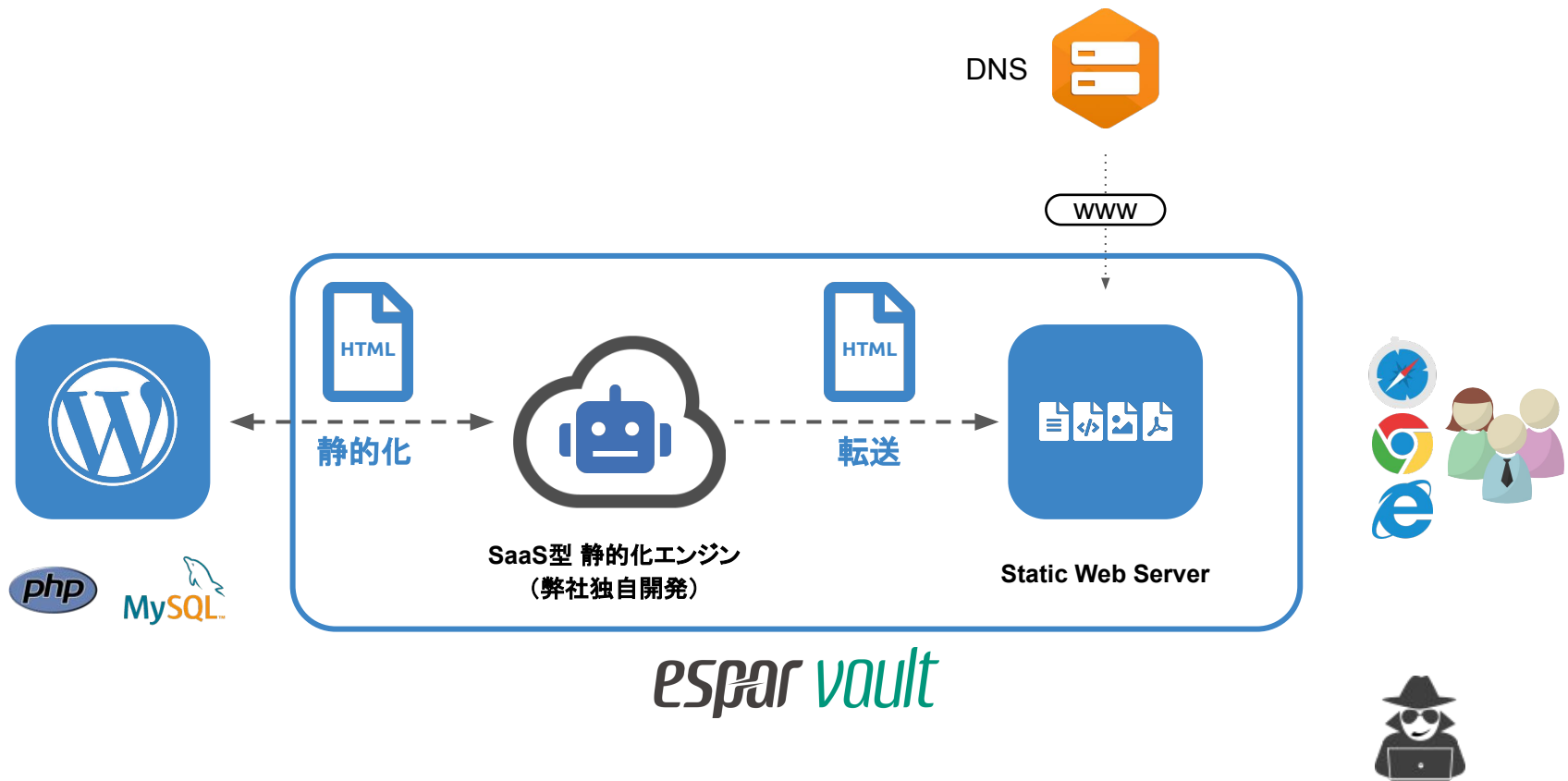
HTML化したファイルを公開用サーバ(原則弊社運用)に転送

espar vault の課題解決アプローチ



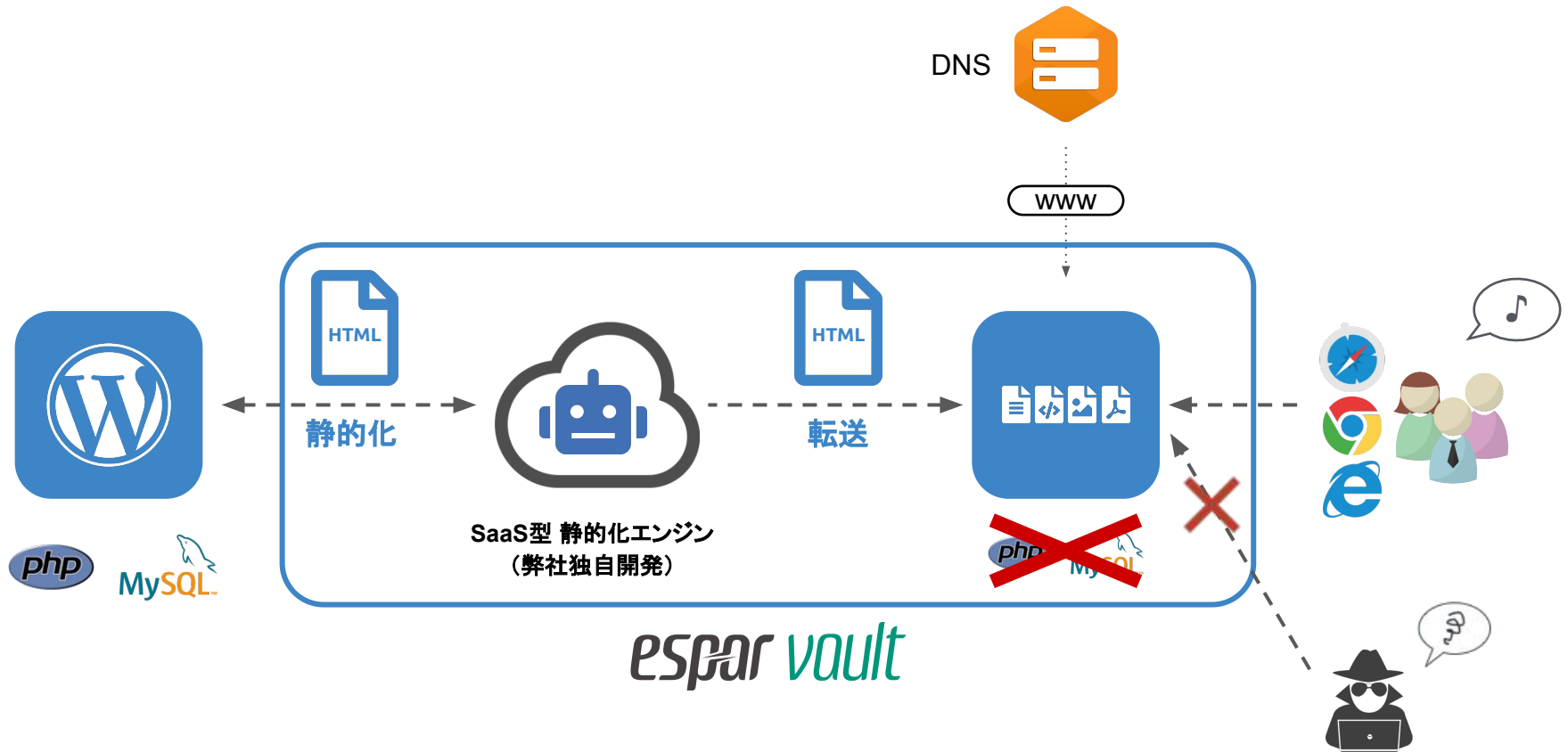
静的化と公開サーバが弊社の(基本的な)責任範囲

espar vault の課題解決アプローチ



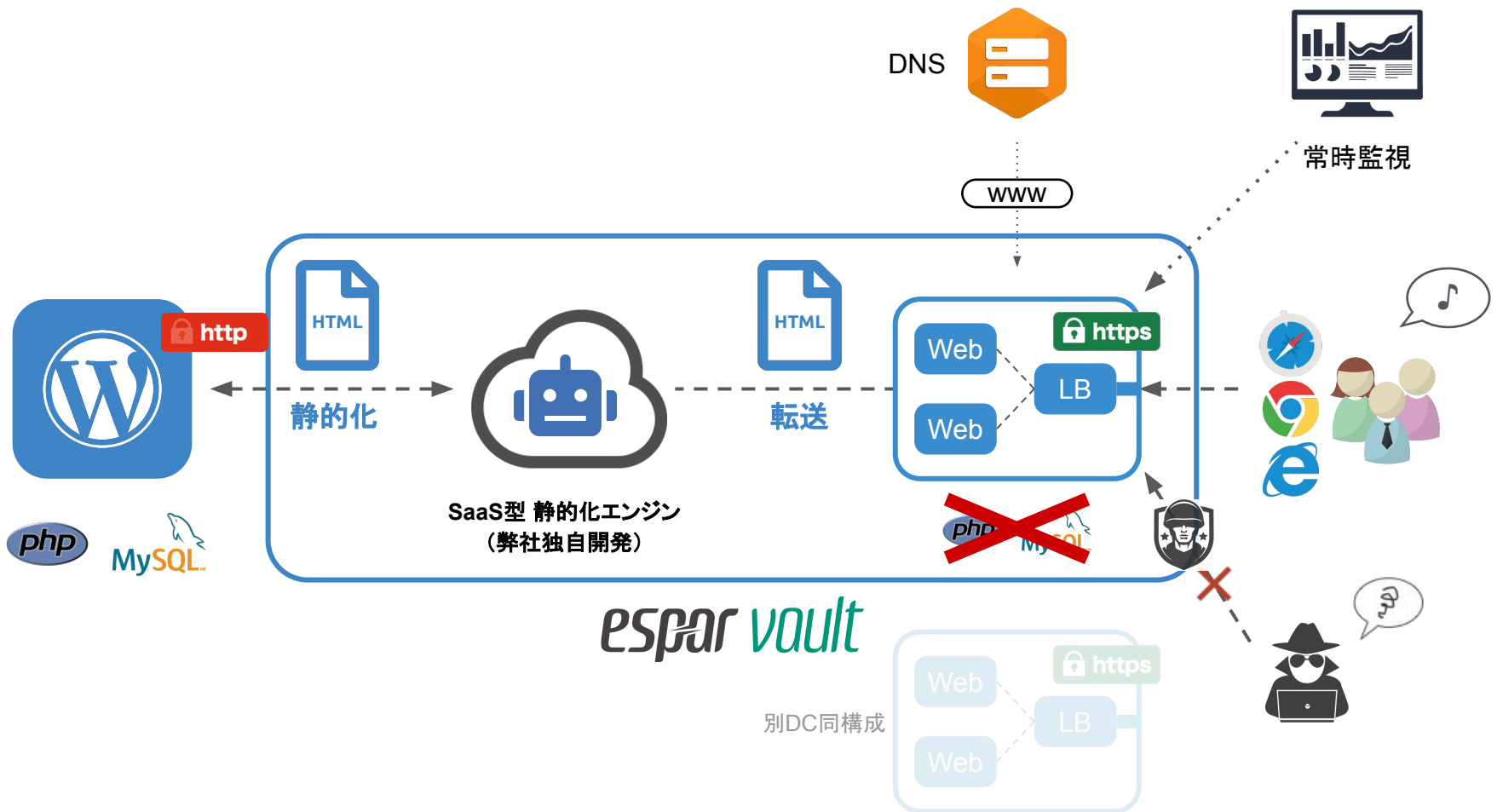
DNSを変更し、公開サーバ側に向ける

espar vault の課題解決アプローチ



最高速度で応答。さらに、http/https層の攻撃は理論上成立しない
(プログラムが動かないため攻撃が実質無効化。ただし後述の動的要素は例外)

espar vault の課題解決アプローチ



任せられるからには徹底的に公開サーバとしてできることを全て実施
(証明書取得/更新、監視、攻撃対策、負荷分散、冗長化、災害対策、その他運用保守)

高速化とセキュリティの『一挙両得』。更に...

- アクセス負荷の心配や対策
- 第三者攻撃の心配や対策
- 保守と監視
- サーバ証明書取得・更新

コンテンツ制作側・運営側で上記が不要となる → **コンテンツ制作に集中** できる
(負荷対策やセキュリティ対策は、貴社が本当にやりたいコア事業ですか?)

導入実績（一部）



上場会社様・公的機関様・大学様・メディアサイト様など多数

価格体系

	御請求区分	内容
基本価格	初期・月額	「espar vault 静的化エンジン」の基本利用料金です。初期の構築費用と月額の利用料金に分かれています。
従量価格	初期・月額	「espar vault 公開サーバ」の利用料金です。月次のデータ転送量・サイト容量に応じて変動します。
オプション価格	月額	espar vault を導入頂くサイトの環境や要件により月単位で加算される料金です。
チケット価格	都度加算	espar vault 公開サーバの設定変更やログ解析など、スポットでの作業御依頼実施の度に加算される料金です。

espar vault の料金は4つの価格が合計されたものとなります

初期費用は導入初月末、月額費用は翌月以降の月末、都度加算分は発生月の月末加算での御請求となります

基本価格・従量価格

プラン	共用公開サーバ	専用公開サーバ	独自公開サーバ (*1)
サイト規模	5万PV/月 未満	5万PV/月 以上 上場企業、または公的組織	-
基本 初期費用	¥176,000	¥352,000	¥176,000～
基本 月額費用	¥10,560	¥73,920～	¥7,920
従量 サイト容量 月額費用	+¥1,100/10GB	+¥1,100/10GB	-
従量 転送量 月額費用	+¥330/10GB	+¥330/10GB	-

(価格は全て税込)

(*1) 公開サーバをお客様サーバとさせて頂くプランです。 espar 静的化エンジンで静的化した結果をホスティングする公開サーバを弊社にて構築させて頂きます。従量価格が課されない他、オプション価格の多くが不要となり、公開サーバを自由に運用して頂けるメリットがあります。なおご用意頂くサーバは弊社指定の espar関連サーバIPからssh接続ができる必要があります。WebサーバはNGINXを前提としており、Apache等のその他Webサーバでの構築には別途費用がかかります (¥33,000～)。独自公開サーバの保守運用を別途費用でお請けすることも可能です (¥33,000～)。またサイトはhttps://～ で公開されることを前提としており、ご用意頂くサーバ上で自己署名証明書を作成の上で使用し、当該サーバに対して https://～ にブラウザでアクセスして表示されるまでが弊社構築範囲となります。Let's Encrypt 証明書を使用した自動更新の設定を別途費用でお受けすることも可能です (¥33,000～)。独自公開サーバのお引き渡し後のご相談やご対応は都度、各タスクに応じたオプション価格にてご提供いたします。

espar vault ではサイト様や企業様のお名前を導入実績として掲載させて頂きます。 **実績として公開不可の場合は初期 /月額ともに +40%の割増料金** となりますのでご注意ください。

含まれるもの

プラン	共用公開サーバ	専用公開サーバ	独自公開サーバ
サーバ証明書の更新	○	○	
TOPページの外形監視	○	○	
アクセス過多の都度対応	○	○	
DNSの変更検出	○	○	
公開サーバログ提供(*1)	○	○	
テスト環境提供(*2)	○	○	○
従量 サイト容量(*3)	10GB	10GB	
従量 転送量(*3)	10GB	10GB	

(*1) 3ヶ月に上限1回で直近30日のみとなります。形式はLTSV形式で、複数ファイルに分かれる場合があります。

(*2) espar vault 静的化エンジンが期待通りに動作しているかを確認して頂くための espar vault テスト環境をご用意致します。テスト環境用の別アカウント・公開サーバを含みます。テスト環境は、導入時だけでなく導入後もご契約継続中は自由にご利用頂けます。但し、テスト用として御提供しているものですので、常時稼働や安定稼働はお約束できず弊社都合で不定期に停止することもありますのであらかじめご了承下さい。

(*3) 従量価格の無償提供枠となります。記載の容量・転送量を超える場合、従量価格の表に基づき課金されます。

○印がないものは原則としてご提供できません。

オプション価格

オプション名	内容	価格	公開サーバ別の提供有無		
			共用	専用	独自
共有サーバオリジン	CMS側サーバが共有サーバの場合	月額 +¥1,100	○	◎	○
月次サーバログ	公開サーバログを毎月ご提供*1)	月額 +¥1,100	○	◎	
非WordPress対応	CMSがWordPress以外の場合	初期：¥30,000～	○	○	○
DNS 管理代行	ドメインの管理代行	初期：¥30,000 月額：¥3,000	○	○	○
静的化予約の分指定	静的化予約を分単位で制御したい場合	月額：¥10,000	○	○	○
静的化元の個別設定	静的化元のWordPress環境を、本番用/テスト用とで分ける場合	初期：+50% 月額：+50%	○	○	○
導入実績公開不可	導入実績として公開不可能な場合	初期：+40% 月額：+40%	○	○	○ (価格は全て税込)

(*1) 先立って「ログ加工チケット」の御購入が必要となります。(「チケット価格」のページをご参照下さい)

価格欄に「～」の記載がある価格は最低価格となります。要件や条件によって最低価格とならない場合があります。

○印・◎印がないものはご提供できません。◎印はご契約により追加費用が発生しない場合があります。

チケット価格(1)

オプション名	内容	価格	公開サーバ別の提供有無		
			共用	専用	独自
リダイレクト設定 (*1)	301,302へのリダイレクト設定	¥1,100	○	◎	
Basic認証設定	Basic認証の設定	¥1,100	○	◎	
リバースプロキシ設定 (*2)	CMS側へのリバースプロキシの設定	¥3,300	○	◎	
静的化エンジン設定	CMS側の設定変更に伴う静的化エンジン設定	¥1,100～	○	◎	○
その他のサイト固有設定	サイト固有の設定	¥3,300～	○	○	
時間指定の設定 (*3)	設定実施の時間帯指定がある場合	¥1,100	○	◎	
静的化済ファイル式の提供	公開サーバにある静的化済ファイル式をzipで提供	¥3,300	○	○	

(価格は全て税込)

(*1) 設定1回あたり1チケット分が加算されます。1度の設定は上限 50件です。

(*2) 設定1回あたり1チケット分が加算されます。リバースプロキシ先は CMSサーバのみです。IP制限を追加/変更/設定する場合も本設定に該当します。

(*3) 各種設定は原則、土日祝を除く 10:00実施となりますがお約束はできかねます。設定実施の時間指定を頂く場合、本チケット分が実施月末に加算されます。土日祝を除く平日 10:00-17:00で1時間粒度でご指定頂くことが可能です。

価格欄に「～」の記載がある価格は最低価格となります。要件や条件によって最低価格とならない場合があります。

○印・◎印がないものはご提供できません。◎印は契約により追加費用が発生しない場合があります。また、いずれのチケットも、弊社都合や弊社が必要であると判断して実施・開催させて頂いた場合、お客様の費用負担は発生いたしません

チケット価格(2)

オプション名	内容	価格	公開サーバ別の提供有無		
			共用	専用	独自
サーバログ提供 (*1)	公開サーバの加工済みログの1ヶ月分提供	¥1,100	○	◎	
ログ集計・ログ加工	ログ永続化サーバから抽出・加工	¥30,000～	○	○	
静的化ファイル一式提供	特定日の静的化ファイル一式をzip提供	¥3,300	○	○	○
レポートの作成・報告 ヒアリングシート記入	調査や資料作成、報告の作業	¥30,000～	○	○	
サイトリニューアル対応	CMS側をリニューアルされる際のespar vault側対応	¥160,000～	○	○	○
サーバ・CMSリプレイス対応	CMS側のサーバをリプレイスされる際のespar vault側対応	¥160,000～	○	○	○
御打ち合わせ	お客様・制作会社様の御申出でビデオ会議の開催	¥6,400/30分	○	◎	○

(価格は全て税込)

(*1) ご要件に沿ったログを個別生成してご提供します。但し初回は「ログ加工チケット」分の加算が発生し、以降この金額でご提供が可能です。毎月提供をご希望の場合はオプション価格の「月次サーバログ」の追加をご検討下さい。

○印・◎印がないものはご提供できません。◎印は契約により追加費用が発生しない場合があります。また、いずれのチケットも、弊社都合や弊社が必要であると判断して実施・開催させて頂いた場合、お客様の費用負担は発生いたしません

料金計算例

月2.2万PVのWordPressサイト、非上場の企業サイト

4月に本稼働開始。運用開始後に、「月次サーバログ」オプションと「リダイレクト」オプション

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
基本価格 初期	¥176,000					
基本価格 月額		¥10,560	¥10,560	¥10,560	¥10,560	¥10,560
従量価格 月額	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
(サイト容量 : GBytes)	2.4	2.6	2.7	3.6	4.0	5.8
従量価格 月額	¥0	¥1,320	¥1,320	¥1,960	¥2,970	¥990
(転送量 : GBytes)	16	42	39	64	99	33
オプション価格						
月次サーバログ 月額				¥1,100	¥1,100	¥1,100
チケット価格						
ログ加工			¥33,000			
リダイレクト		¥1,100			¥2,200	
ご請求合計額	¥176,000	¥12,980	¥44,880	¥13,620	¥16,830	¥12,650

(価格は全て税込)

DNS切り替えで本稼働

リダイレクト20件追加を1回

月次サーバログのご依頼

リダイレクト1件追加を2回

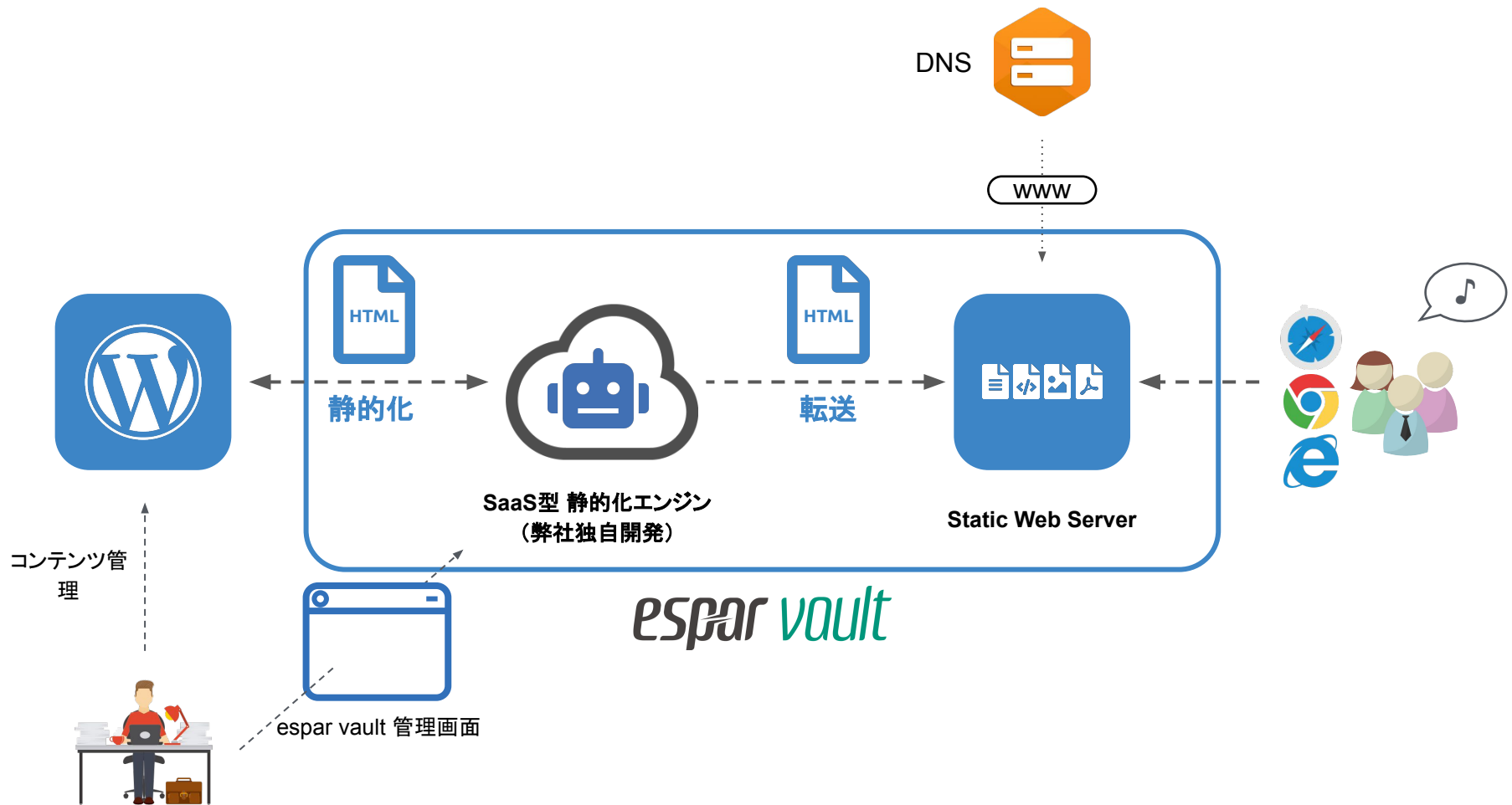


よくあるご質問



- ❑ サイトの更新手順は？更新はリアルタイム？
- ❑ 自動更新や予約投稿はできる？
- ❑ フォーム等の動的要素は動作する？
- ❑ 管理画面のURLはどうなる？
- ❑ 公開サーバに別のものは使える？（他社DCやIaaS）
- ❑ WAFやCDNとどう違う？
- ❑ 導入手順は？
- ❑ 静的化エンジンそのものは提供可能？
- ❑ サイトの過去状態をアーカイブできる？

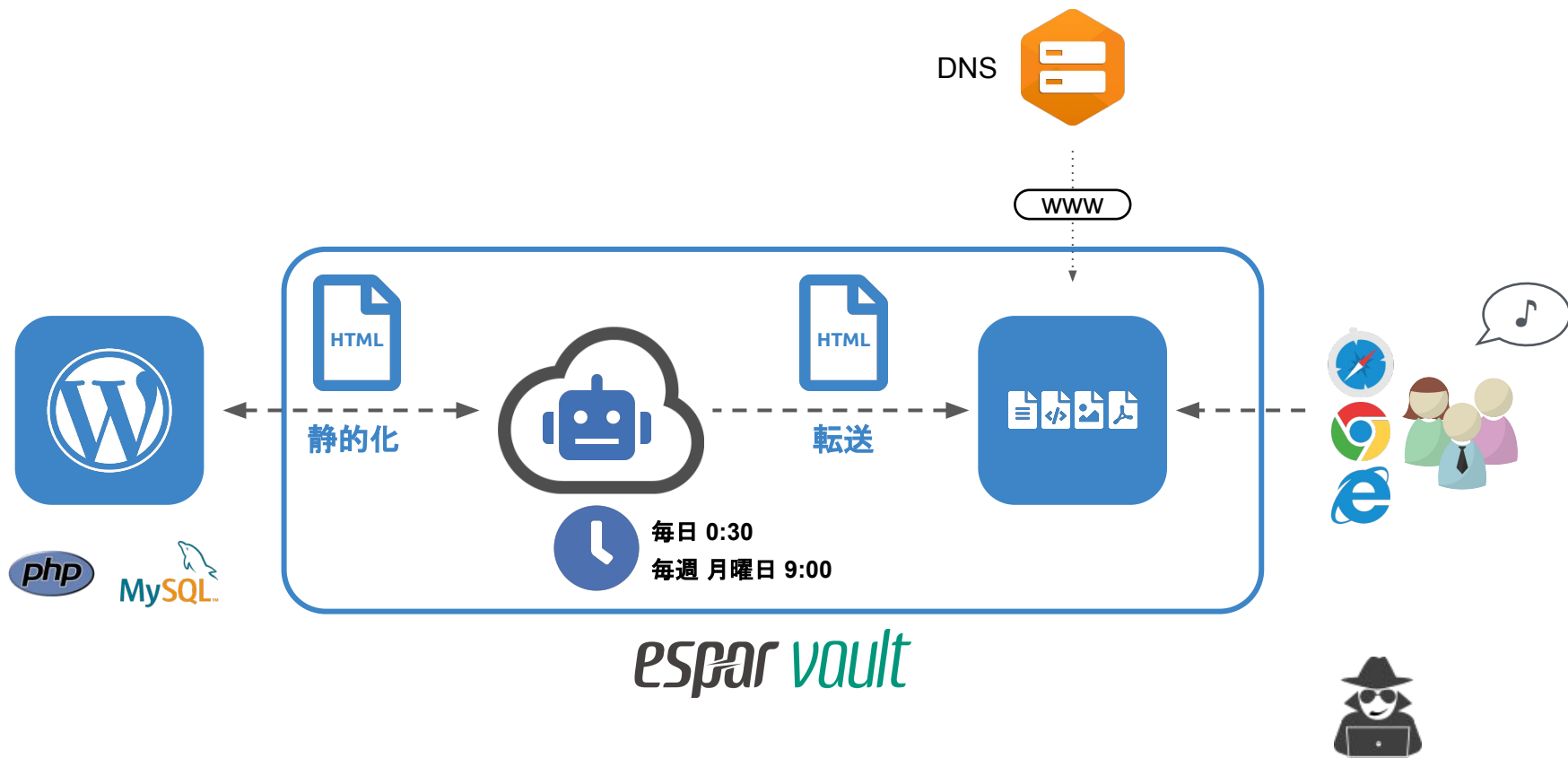
② サイトの更新手順は？更新はリアルタイム？



リアルタイムではありません。管理画面から明示的に手動で「静的化」を行います
(MovableTypeでの再構築に相当するオペレーション)



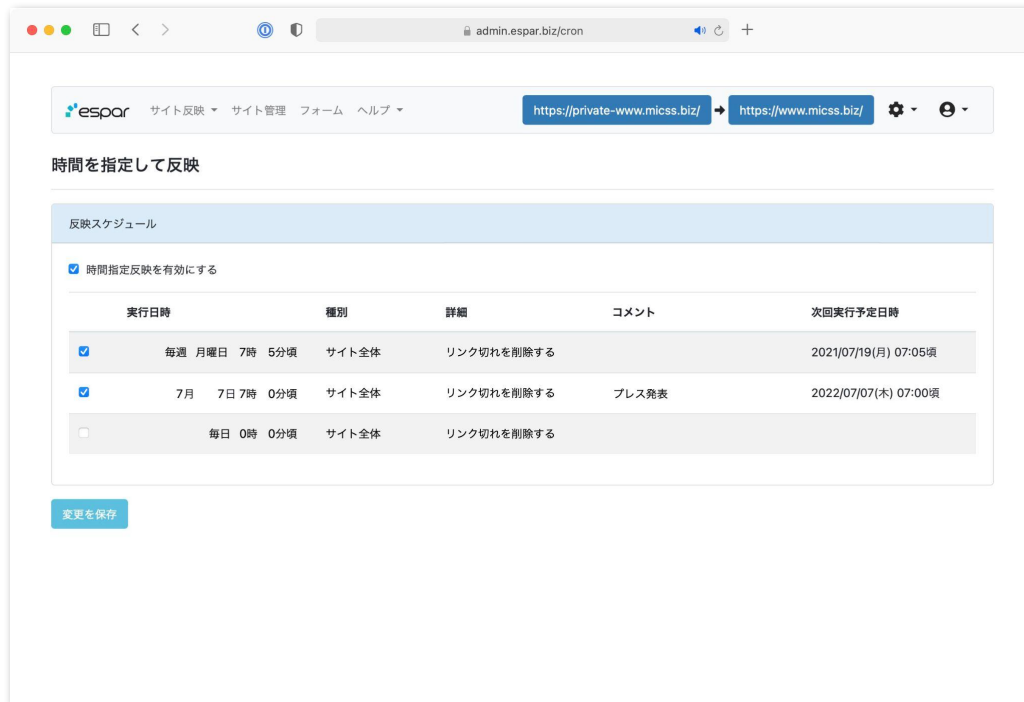
自動更新や予約投稿はできる？



可能です。指定した時間に自動的な静的化が可能です。

(但し時間の指定は5分粒度です。1分単位での指定はオプションの契約が必要となります)

「タイマー」や「予約」が可能

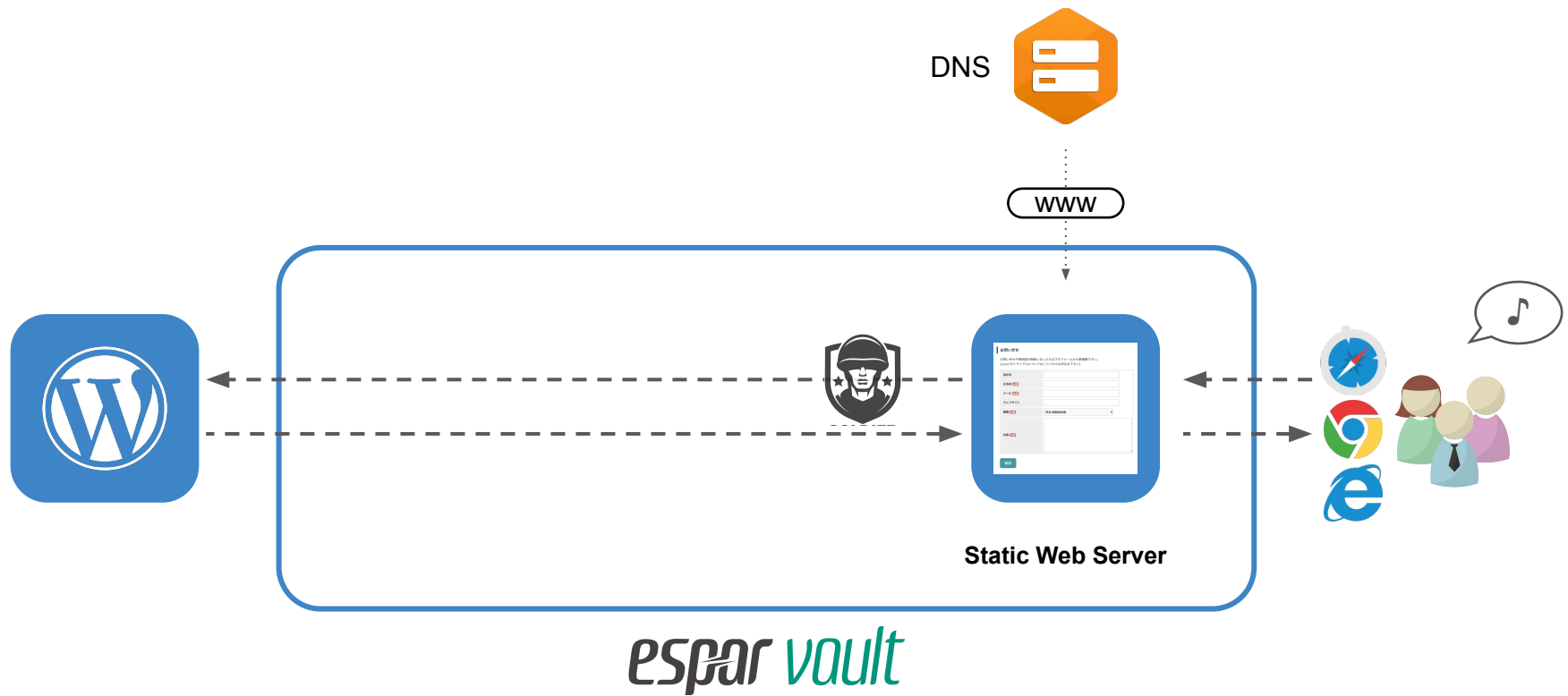


主な機能

- 毎日・毎月・毎週で指定可能
- 特定日時での指定も可能
- 指定可能なのは3つまで(特定日時の予約は使いまわし前提)
- 次回実行日時を表示

毎日・毎月・毎週の任意時間に指定する「タイマー」や、特定日時に指定する「予約」が可能
各設定で次回はいつ実行されるのかを表示

② フォーム等の動的要素は動作するのか？



動作します。必要な箇所のみWordPress側に素通しするリバースプロキシを設定します。
(ただし当該箇所は「サーバを晒す」と変わらなくなるため、個別にセキュリティ対策を推奨)

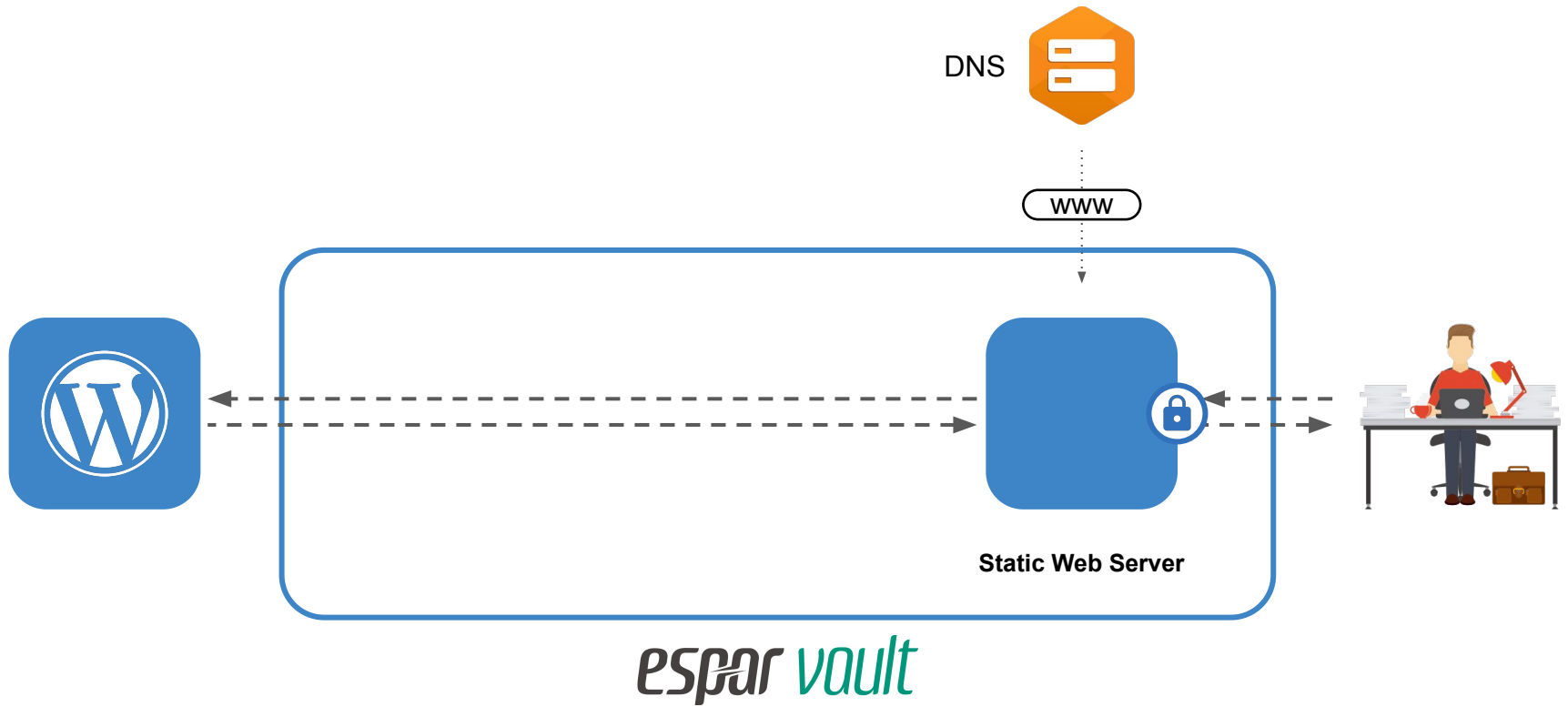
(関連サービス) 静的ページ向けのフォームツール

espar form



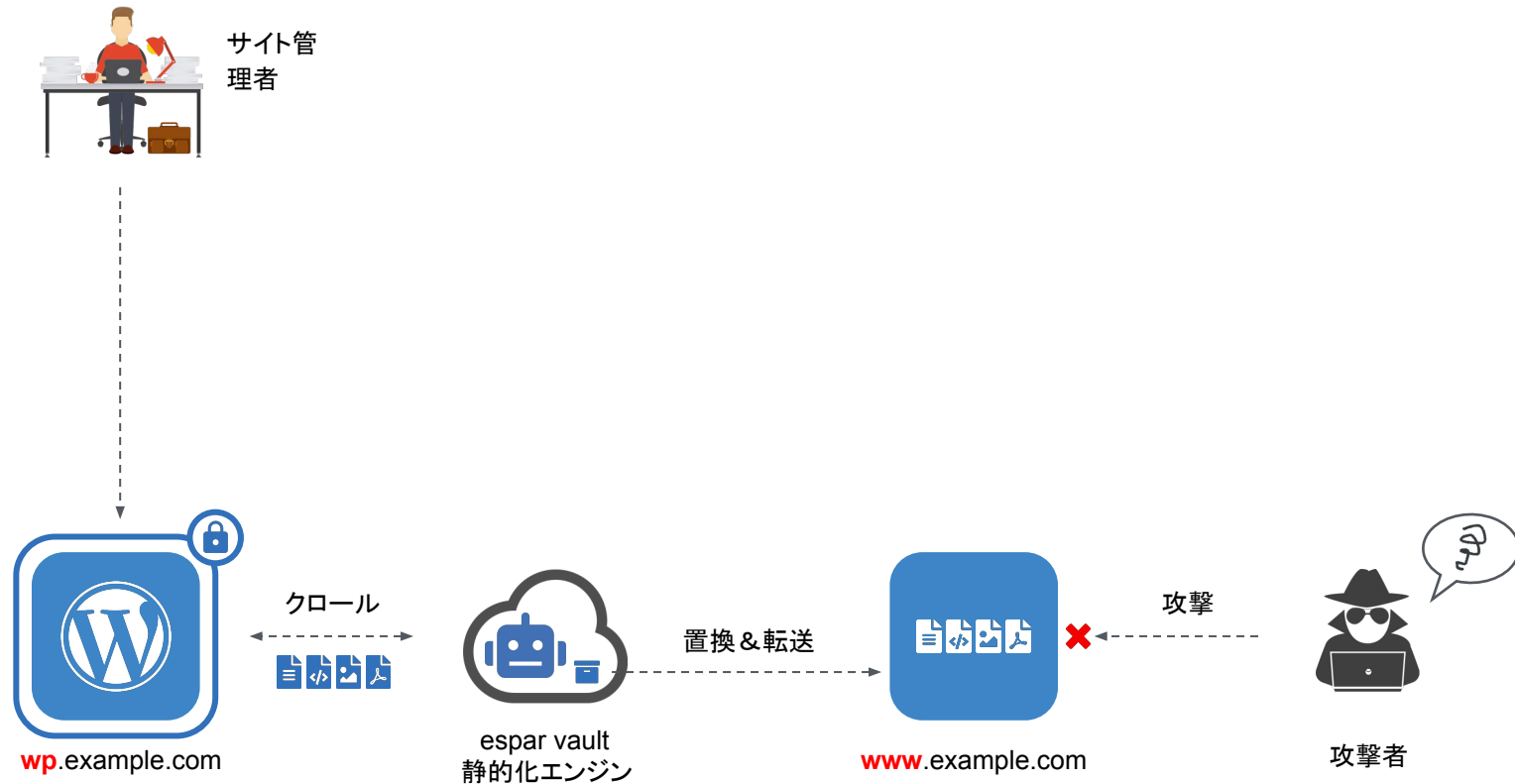
PHPが不要なJavaScript だけで動く静的フォームツール **espar form** の併用を推奨。
問い合わせフォームのためのリバースプロキシが不要となり安全性が高まります。

① 管理画面のURLは変わるのか



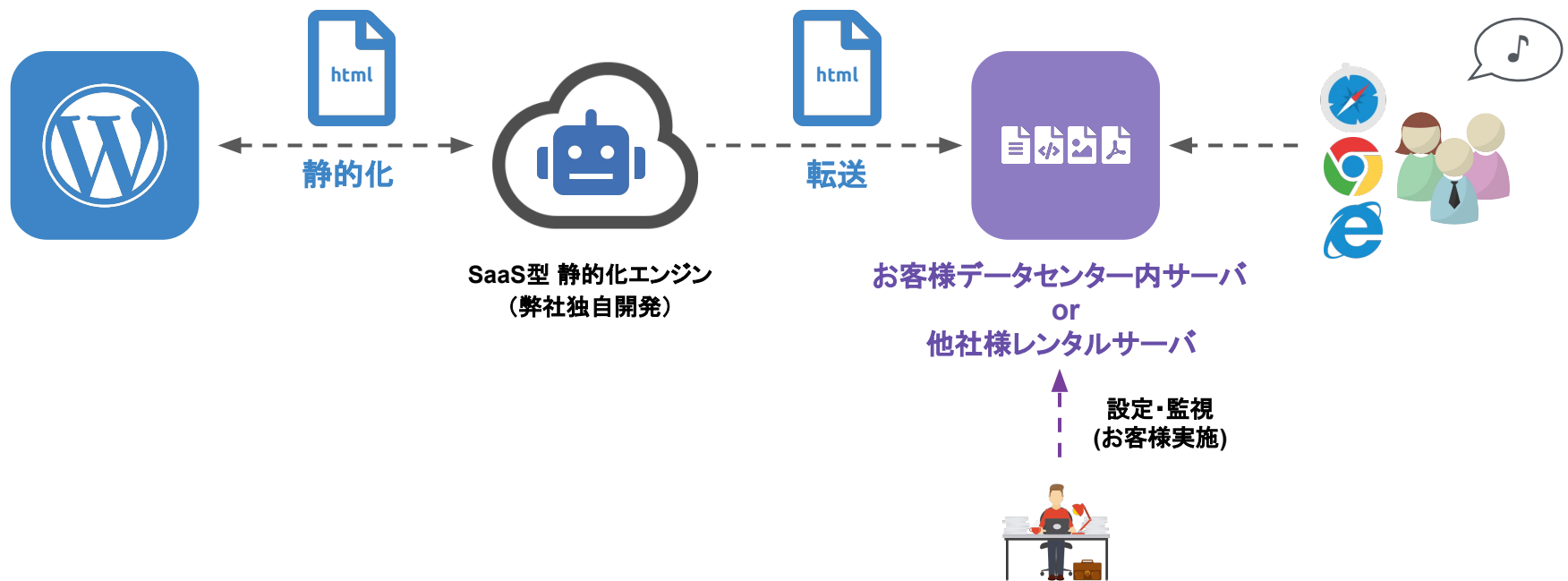
従来どおりのURLで使用可能です。エンドユーザには影響なく従来どおり操作可能です。

(オプション) 理屈上、攻撃不可となる理想の構成



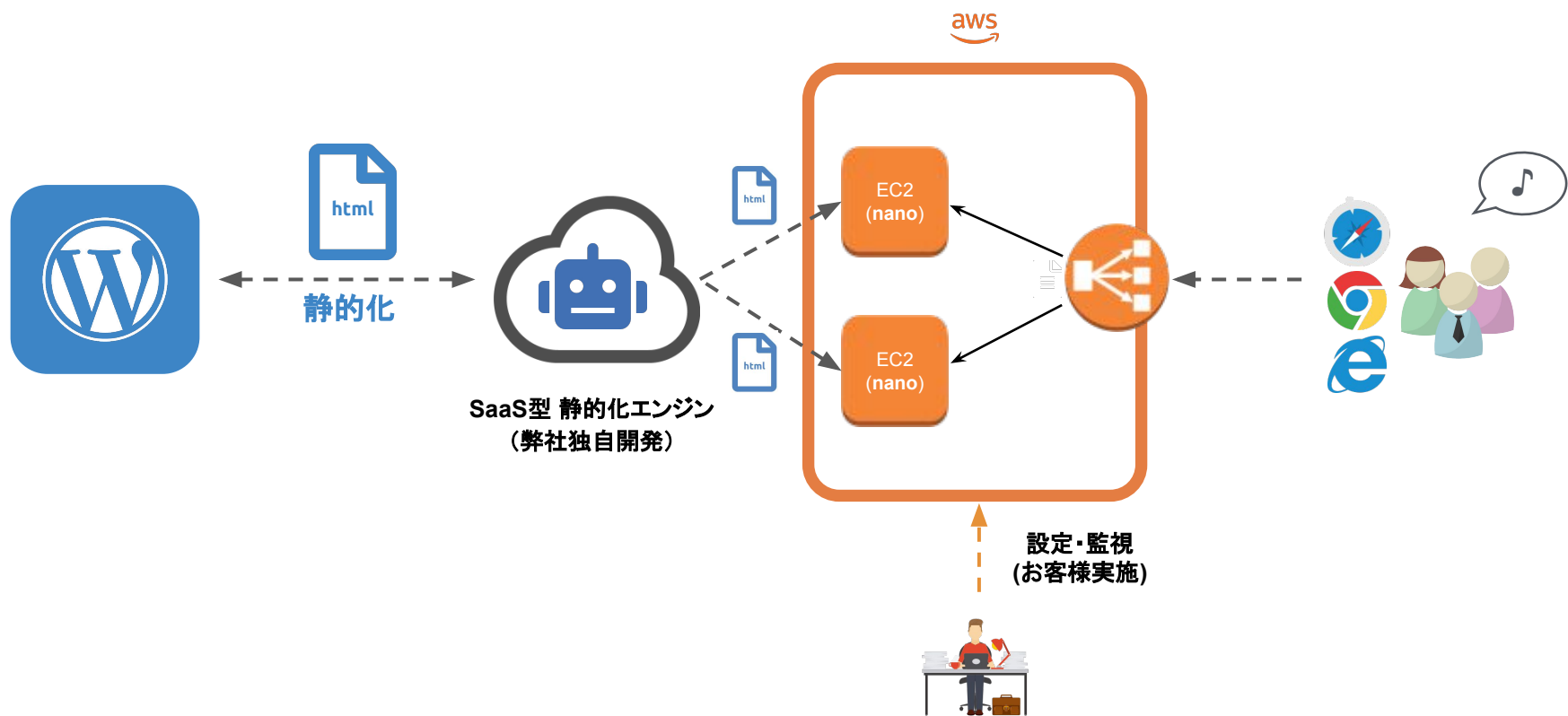
WordPress側を別ホスト名にして**完全に隠蔽化**して安全性を高めることができます。
新規サイト構築やリニューアル時にお勧めです。

① 公開サーバに別のものを使える？（指定DC）



弊社の公開サーバを使用しない「独自公開サーバ」プランでのご提供が可能です

② 公開サーバに別のものを使える？ (IaaS)



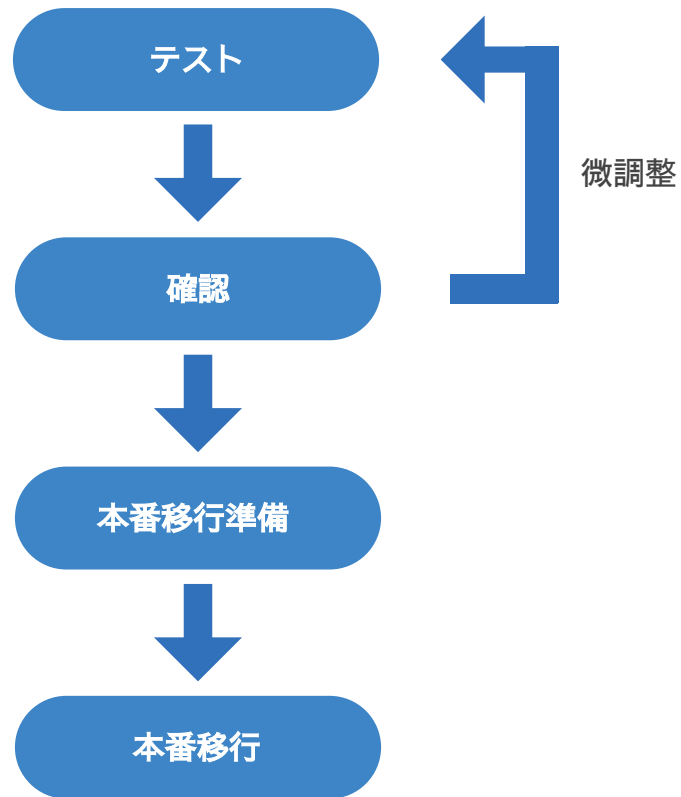
弊社の公開サーバを使用しない「独自公開サーバ」プランでのご提供が可能です
(S3へのホスティングには対応していません)

② WAFやCDNで良いのでは？

	CDN	WAF	<i>espar vault</i>
セキュリティ確保	-	○	○
スピードアップ	○	-	○
設定作業 有事の対応	自己責任	自己責任	丸投げ可 (弊社が担当)
デメリット	キャッシュ制御 が極めて難しい	誤認識やゼロデイ 攻撃の回避困難	静的化が都度必要

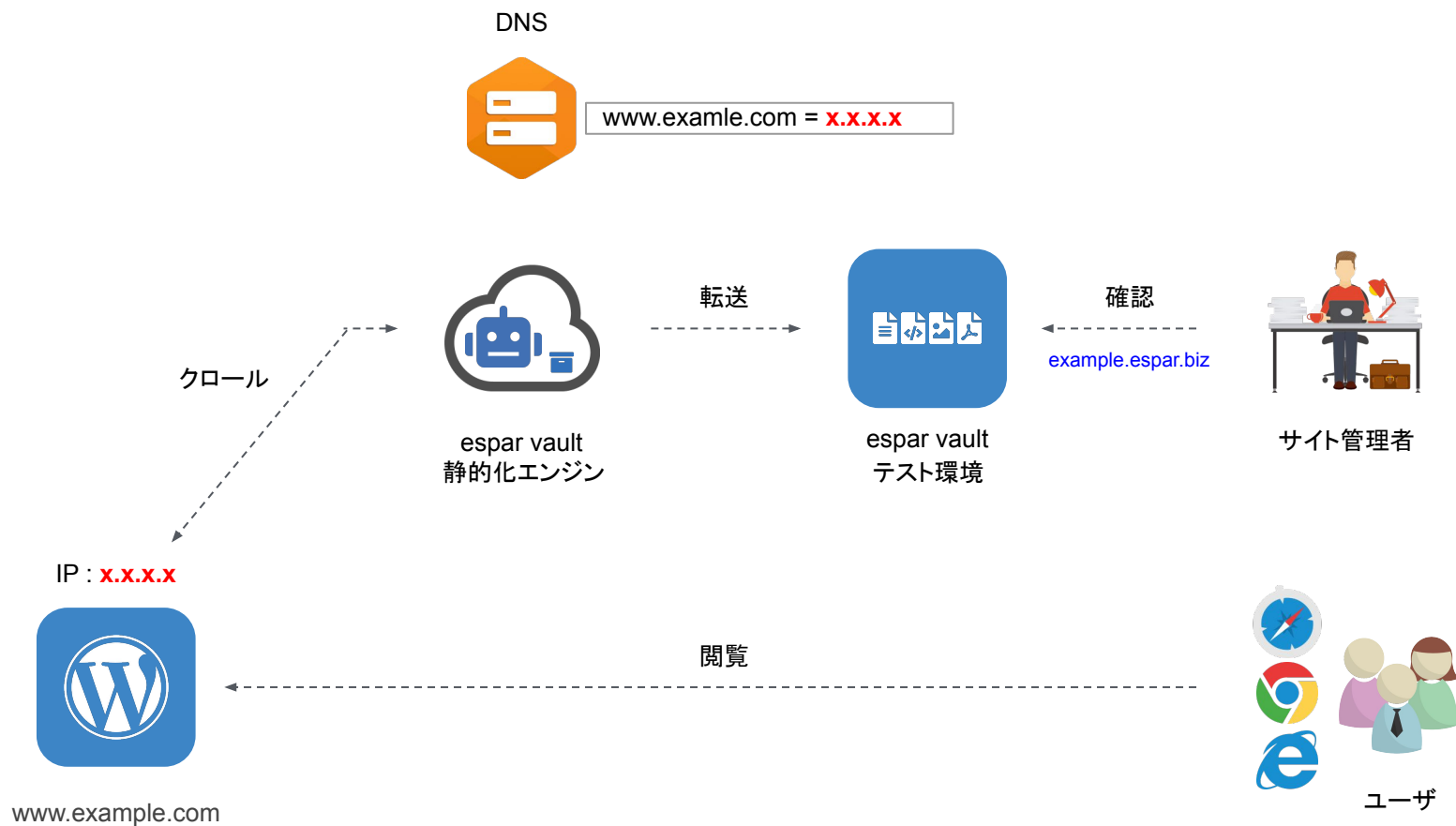
課題解決ツールは他にもあるが自己責任となり、意図した通りに動作させるには、Webサーバやhttpプロトコル、PHP、WordPressの広範囲かつ高度な知識が必要です。espar vault はそれら知見と実践をパッケージにしたサービスであり労力を最小化できます。

① 導入手順は？





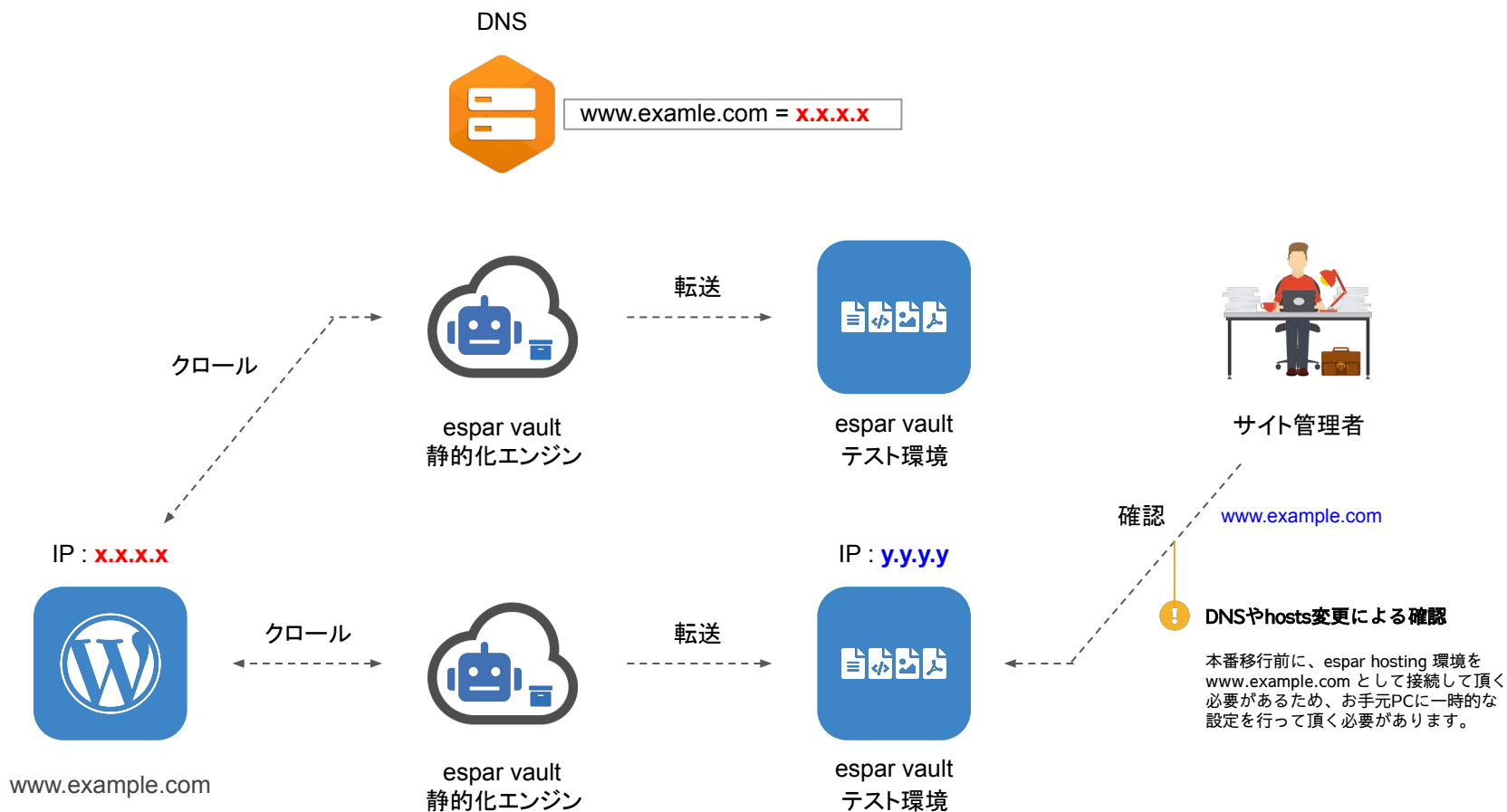
導入手順（テスト）



別ドメインを割り当てたテスト環境を用意し、静的化結果を確認頂きます。
問題がある場合は報告をいただき弊社で都度調整を実施します。



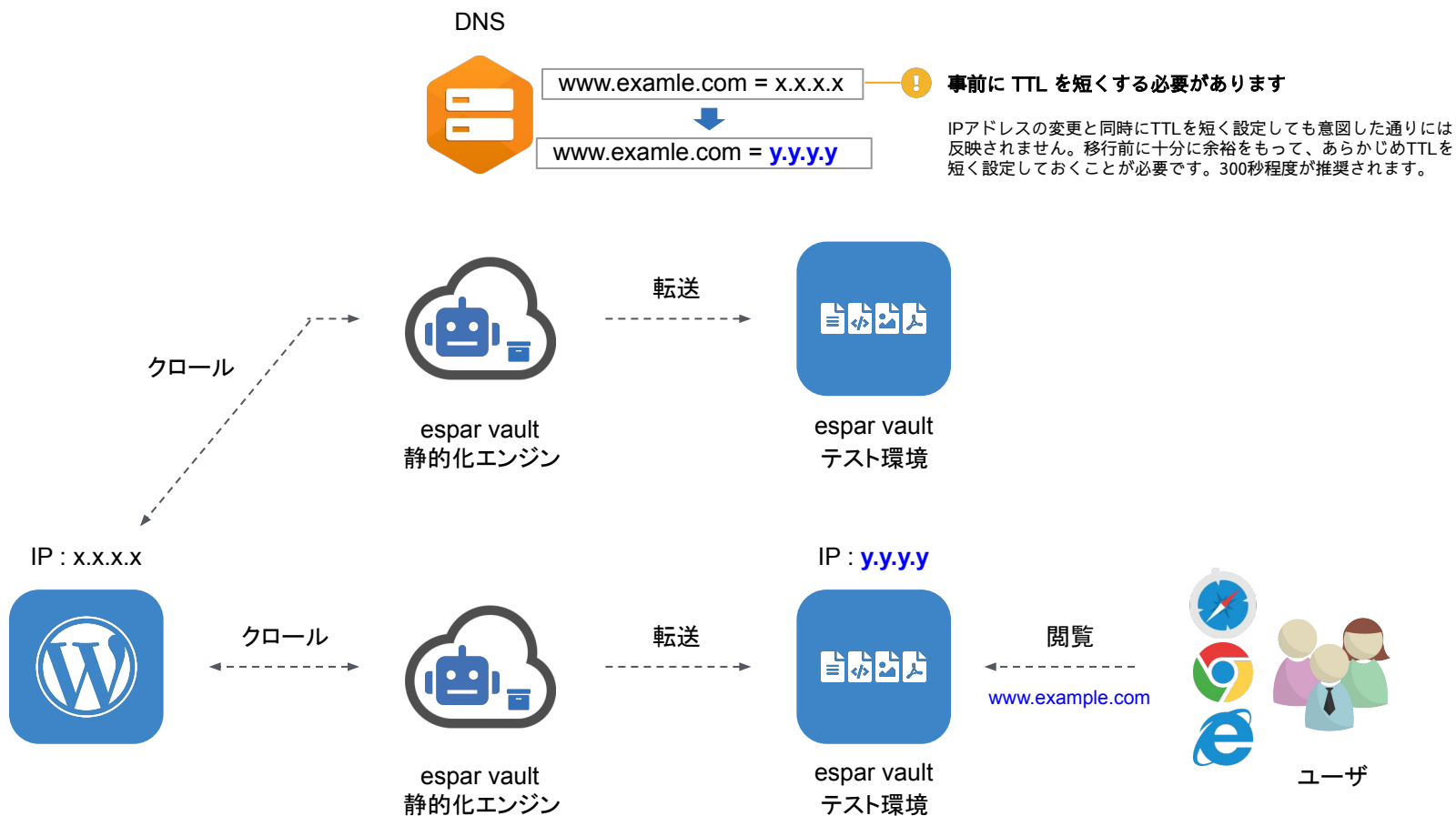
導入手順（テスト）



テスト環境での確認終了後、全く同じ設定・環境で本番環境を用意します。
/etc/hosts の変更等で本番環境を確認することが可能です。



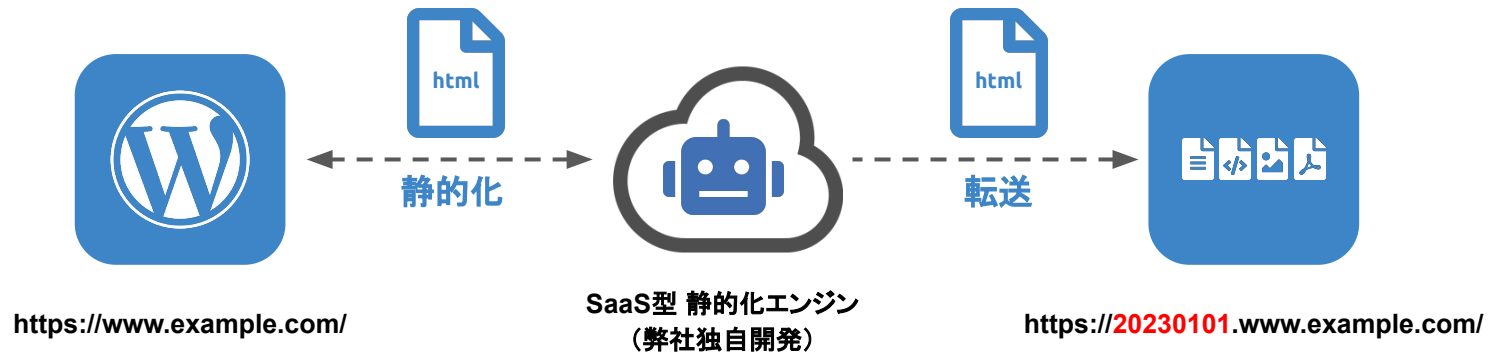
導入手順（本番切り替え）



DNSの変更で切り替え完了となります。以降は、WordPress環境にアクセスが直接届かなくなります。
(テスト環境はその後もご利用可能ですが、弊社メンテナンスで利用不可となる場合があります)

① サイトの過去状態をアーカイブできる？

espar archive



特定日時(例えば2023年1月1日)のサイト全体をそっくりそのまま別ドメインで保存・ホスティングする
(espar vault の契約は必須ではなく espar archive 単独でのご提供も可能)

espar vault 導入のメリット（まとめ）



- **理論的な最高速度** に応答速度を引き上げる（＊１）
- 理論的にhttp/https層の**攻撃の大半を無効化** する（＊２）
- WordPressのアップデートがほぼ不要になる
- WordPressが破損してもサイトは公開され続ける
- WordPressサーバのスペックを低くして費用削減できる
- WordPressの管理画面が高速になる（負荷が減る為）
- WordPressの管理画面のセキュリティが自動で強化される（＊３）
- WordPressのプラグインが一部不要になる
- 常時SSL化に自動的に対応できる
- 常時SSL化の為の**証明書関連の手間が不要** になる（＊４）
- スピードやセキュリティの心配事を全て丸投げできる
- **コンテンツ制作に専念** できる

（＊１）サーバ・クライアント・両者間の条件が等しい場合、静的化したHTMLファイルで応答する以上に高速な方法は理論上存在しません
（＊２）PHPが動作しないため想定していない全てのURLへのアクセスは404エラーで応答します。従って大半のhttp/https層の攻撃は成立しません
（＊３）一次受けする公開サーバ側で管理画面へのアクセス(/wp-admin/)にBasic認証とIP制限をかけるため、自動的に管理画面も安全になります
（＊４）常時SSL化に必要な証明書の取得・設置・更新の全てを弊社が行います。これらの費用も espar の料金に含まれています